

日本共産党

高槻市議員

きよた 純子



ニュース

2015年8月15日
NO. 44

発行：日本共産党高槻市議員団 きよた純子
連絡先：議員団控室
TEL072-674-7230 FAX072-674-3202
上本町3-25 TEL/FAX. 676-5068

6月議会 きよた純子の一般質問

〓その〇〓

高槻市民の戦争被害

今年で戦後70年です。高槻市でも、多くの戦没者がおられ、空襲もありました。広島や長崎で被爆され、高槻でくらししている方もおられます。私は戦争被害を語り継ぐことの重要性と高槻市の役割について質問しました。

高槻市民の戦争被害 (市の答弁より)

戦没者数	2577人
被爆者健康手帳所持者数	
2004年	451人
2014年	344人
空爆被害	
死亡者数	5人
負傷者数	11人
家屋の全焼全壊	11件
半焼半壊	6件

「戦争を語りつぐ証言集」
た。市は「戦争の悲惨さを風化させることなく、平和の尊さを次世代へ語り継ぐ」



ことが必要とし、「世界恒久平和の実現に向け他都市や市民と共に平和の大切さを一層訴える」と答弁しました。

戦争体験 次世代へ継承を

地域の方から、家のすぐ隣に爆弾が落ちてきて怖かったという話や、大阪大空襲の時に従軍看護婦として働いたという話もお聞きます。身近な人を失うつらさなど

「戦争は何があってもしてはいけない」と強く思いま

す。

市は18年前に「憲法施行50周年記念、市民の戦争体験集『平和への思い』」を発行しています。この証言集を再び編集し発行すると、学校教育などを通じて高槻市民に、戦争の悲惨さを語り継ぐこと。高槻市民の戦争被害

害の状況を市の施設で展示することなど求めました。

また、広島市の被爆アオギリや長崎の被爆クスノキの種から育った苗木が10校の小学校や城跡公園に植樹されています。もっと市の施設に植樹を増やし、被爆の悲惨さと、復興に努力した関係者の姿を若い人たちに伝えていくことが必要だと求めました。

障がい者グループホームの改善求める

〓その②〓

グループホームは2013年度では62ヶ所利用者は261人です。市の第4期障がい福祉計画では2015年度324人、2017年度は415人の利用者を見込んでいます。障がいをもつ方の保護者の高齢化は

深刻で「自分が亡くなつたあと、子どもの将来が不安。グループホームにその時に入れるだろうか」という声が多く聞かれています。今後の見直しをどう考えているのか質問しました。市も利用者は増えると考えていて、事業者の

支援を引き続き行っていくとの答弁でした。また、グループホームの報酬単価が低く、運営は厳しいものがあります。非正規、パートでの対応がほとんどです。今年3月末現在でも51歳以上の利用者が4分の1近く、重度

の方が約6割です。重度化、高齢化がすすんでも利用者が、グループホームで生活できるような制度設計や、職員の安定した確保を含めた報酬の底上げなどが課題です。利用者や事業者との話し合いを継続的に進め、国に制度改善を要望し、市として支援を充実することを求めました。

難病医療負担増の軽減と充実に求める意見書が全会一致

2014年5月に「難病の患者に対する医療等に関する法律」が成立し、難病対策が拡充されました。しかし、人口の0.1%程度以上の疾病や診断基準が明確でないものは難病とされず医療助成の対象となりません。

また、これまで、自己負担がなかった住民税非課税世帯や重症患者への新たな負担が課せられました。私はこの問題を改善する意見書を提出し、7月15日に全会一致で可決されました。

また、これまで、自己負担がなかった住民税非課税世帯や重症患者への新たな負担が課せられました。私はこの問題を改善する意見書を提出し、7月15日に全会一致で可決されました。



安満遺跡で水田を発掘

史跡整備指導検討会が現地保存の答申をだす

安満遺跡公園内の雨水貯留施設建設にむけて、遺跡の発掘調査を昨年9月から実施し、弥生時代前期(約2500年前)の水田や墓などの貴重な遺構

を検出。近畿地方での稲作開始期の状況を明らかにする重要な発見であり、市の付属機関である史跡整備指導検討会から6月12日付けで、この水田などを現

弥生時代前期の遺跡

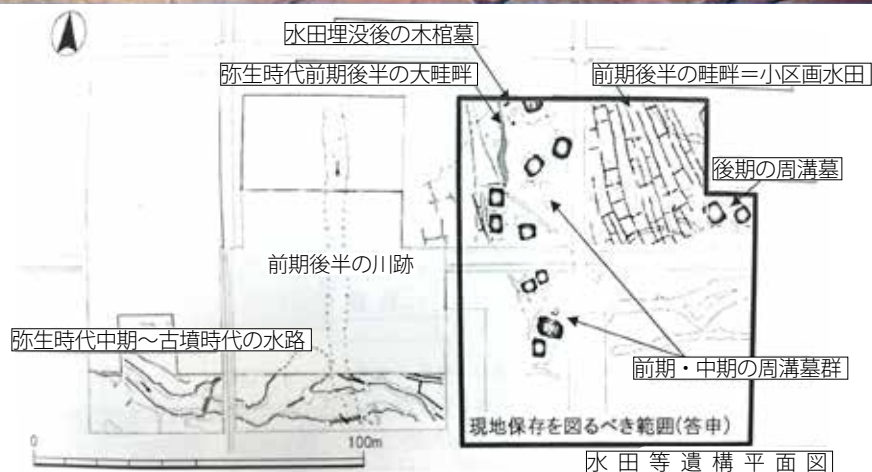
学術的な大発見

これまで、住居跡は見つかっていましたが、水田が発掘されたのははじめてです。57枚の水田があり、1枚の大きさは、10㎡から60㎡の長方形で、幅2センチのあぜにより区

分されています。木や土器でつくられた「ひつぎ」も見つかりました。水田と墓、住居の跡がそろった全国でも珍しい遺跡です。川の氾濫で埋もれた水田の上には、弥生人の足跡が残されています。住居の跡には、女性が使ったものとみられる漆塗りのくしの破片などが残されていました。

市営バス高齢者無料乗車証制度についてのアンケート調査の案が示されました。私は委員として出席しました。

アンケート調査は高齢者無料乗車証制度について、どの程度外出しているのかという設問などがあり、高齢者無料乗車証制度が市の福祉施策への参加や健康、社会参加にどう役に立っているかを分析します。私は自由記述欄のまとめ方や病院やボランティア、山登りなどによる市バスの乗り継ぎも実態がつかめるようなアンケートにして欲しいと求めました。



発掘された遺跡の平面図

当時の人々が、どんな暮らしをしていたのか、弥生文化のはじまりを知る貴重な発見です。日本中から見に来てもらえるようにわかりやすい保存が必要です。

9月議会日程

9月7日(月)	本会議/提案理由説明
9日(水)	本会議/質疑
11日(金)	文教市民委員会 福祉企業委員会
14日(月)	都市環境委員会 総務消防委員会
28日(月)	本会議/採決、 一般質問
29日(火)	本会議/一般質問

ぜひ傍聴をお願いします
※いずれも午前10時開会です。

定例・市政相談会

きよた純子

第3(木)午後2時~4時

第4(土)午後3時~5時

場所:八幡町1-33

場所:川添2-3-12

TEL:673-0002

TEL:692-0144

お気軽にご相談を
676-5068